



飯地小学校 HP

夢をもち、懸命に生きる子 ~進んで学ぶ子・思いやりのある子・元気な子~

## その言葉、どこで覚えたの？

校長 原田 三千代

「〇〇ちゃん!気を付けて帰ってねえ!」「あ!それ、僕が持ってくるから、〇〇ちゃんは待っていていいよ」「〇〇君、それ、すごくいい考えだよね!」…飯地小の生活の中には、こんな大人顔負けのステキな言葉が飛び交います。そんな言葉を聞く度に、驚きと感動が溢れてきます。

言葉は環境によって育まれます。言葉遣い、敬語…形は勉強すれば身に付くものですが、飯地小の子どもたちの言葉には、相手への「心」が込められています。すごい!の一言です。日々の学校生活の中で、家庭で、地域で、子どもたちの周りにあたたかい言葉が溢れているからこそ自然に使うことのできる、子どもたちにとっての「あたりまえ」の言葉になっているのだと思います。

先日、太田神社の例大祭に参加させていただきました。神社に着くと地域のみなさんが気軽に話をしてくださり、一気に距離が縮まったような気持ちになりました。「先生、遠いところご苦勞様。」「先生、無理しすぎんように、のんびりやりんさいよ。」こんな温かい言葉をかけていただきました。そんなに緊張はしていなかったつもりなのですが、肩の力が抜けて、気持ちが楽になりました。私自身も、地域のみなさんのあたたかい言葉から勇気をいただきました。本当にありがとうございました。

言葉は不思議です。その一言であたたかな気持ちになったり、勇気をもらったりします。もちろん反対に、人を傷つけたり、明日への力を奪ってしまったりすることもあります。本年度の学校経営の重点にもある「人権尊重の意識が風土として根付く学校」を目指し、「相手の気持ちをあたたかく、明るくする言葉」この価値をさらに広げていけるよう、これからも、子どもたちに伝え続けていきます。

### 飯地小学校運営協議会コーナー 令和8年度 第1回運営協議会 4月14日(火)開催

～地域ぐるみで育てたい姿『豊かな体験を通して、ふるさと飯地への愛着と誇りをもつ』～

第1回の学校運営協議会が開催されました。委員の皆様、本年度もどうぞよろしくお願いいたします。

早速、「いいじっこサポーター」さんにご協力頂き、ふるさと学習の準備が始まっています。地域に守られ、支えられ、安心して学校生活をおくることができていることに感謝の気持ちを忘れず、自分達にできることの幅を広げ、一歩前進することのできる、そんな体験活動を目指していきます。

会長:後藤 次哉 様【飯地自治区協議会 会長】

副会長:保母 美奈 様【地域学校協働活動推進員】

委員:織瀬 金一 様【壮健クラブ 会長】

山口 鉦一 様【ふるさと民俗資料館 館長】

山田 芳彦 様【飯地三学塾 塾長】

樋口 豊広 様【民生児童委員長】

後藤 令子 様【主任児童委員】

佐藤 昌宏 様【飯地振興事務所 所長】

山内 志緒 様【飯地小学校 PTA 会長】

